

😊 SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校 😊



スマハピ通信

第9号

平成 30 年 (2018 年) 11 月 30 日

文責 校長 小島 昇

現地理解教育の推進

移動教室で「本物」を学ぶ

スクールフェスティバルが終わり、各学級では日常の授業を充実させるとともに、現地校との学校間交流や各教科の移動教室を計画、実施しています。1学期に実施しました宿泊学習や移動教室につきましては、その一部を「スマハピ通信」第4号でお伝えしました。今回は、11月に行いました9年社会科移動教室と6年 ART 科移動教室をご紹介します。



9年生は、11月7日に国際連合日本政府代表部と国際連合本部を訪問しました。最初に訪問した日本政府代表部では、参事官から、国際連合において政府代表部が果たしている役割や、国際社会における日本の立場、また参事官個人のこれまでの職歴などを伺いました。また、生徒たちから日本の外交関係や外務省の女性雇用の状況等について質問があり、一つ一つの質問に参事官が丁寧に答えてくださいました。海外で生活する中学生らしく、国際連合の働きや国際関係、外務省の仕事等への関心が高く、鋭い視点で質の高い質問がなされていたことに参事官は感心され、私も GJS の生徒たちを誇らしく思いました。

国際連合本部はツアーで見学することができます。しかし、日本政府代表部を訪問して、現職として第一線で活躍されている職員の方に直接お話を

伺う機会を設けることは、当地に設置された在外教育施設であるからこそ実現できる企画です。

9年生は、日本政府代表部を訪問した後、国際連合本部の見学を行いました。



6年生は、11月28日に MoMA (ニューヨーク近代美術館) を訪問しました。他の来場者が入館する前の時間帯に、Vincent van Gogh の「The Starry Night」の前に座り、じっくりと鑑賞し、スケッチをすることができました。何とも贅沢な時間でした。その後も、解説を聞きながら、Marc Chagall の「I and the Village」、Henri Matisse の「Dance」、Claude Monet の「Water Lilies」等の作品を鑑賞して回りました。

GJS では4年生から ART 科移動教室を実施しています。今回 MoMA を訪問した6年生は、去年は Yale University Art Gallery を訪れて美術作品の鑑賞を経験しています。日頃からキース教諭の指導を受け、このような経験を重ねている子供たちの目は、「本物」の作品を前にキラキラと輝いていました。

「本物」を学ぶことができる移動教室を通して、これからも児童生徒の興味関心を高めていきたいと思えます。

今年の授業研究

日常の授業を充実させることは、教師の使命です。アメリカに設置されている在外教育施設として、国際理解教育を進めたり、英語教育を充実させたりすることにも、もちろん力を入れています。日本人学校として最も大切にしなければならないことは、日本語で理解し、考えて、伝えられる児童生徒を育てることだと考えています。

しかし、私自身の経験を振り返ってみても、1時間1時間の授業で、大成功と言える授業は簡単にできるものではありません。だからこそ、日々の授業をいつも改善させていこうとする姿勢と取組が欠かせないのです。そのため GJS では、教員集団として授業改善のための授業研究を継続的に行っています。(昨年度 8/9 発行及び 8/31 発行の学校だよりに関連した記事を掲載しています。本校ウェブサイトでご覧いただけます。)

今年は「自ら学ぶ力を身に付け、高め合う授業の創造」を学校全体の研究主題とし、初等部では特に、子供たちのつながりを深める教師の関わり方を共通の視点としています。

先日は、6年生の授業(算数:順列と組み合わせ)を参観し、教員集団として学び合いました。橘教諭は3つの具体的な手立てを考え、実践しました。



まず、子供たちが主体的に学びに向かえるように、最初に授業の流れに見通しをもたせました。これは、これまでの研究で本校の教員が共通して実践し始めていることです。次に、1枚の模造紙に各自が自分の考えを書き込み、それを見合い、伝え合うことで、子供たちの学びがつながることを目指しました。この紙面では伝えきれませんが、この手立てには、いくつかの大きな効果があったと私は捉えています。全ての児童が、自分の考えを自分の言葉で伝えることができ、互いの考えを伝え合うことで理解がさらに深まりました。3つ目は、児童の思考や発言をつなげる教師のかかわりを心がけたことです。大切なことはしっかりと確認しつつも、できるだけ子供たち自身が考えを伝え合えるようにしました。

6年生が確実に育っていることが確認できる授業でした。

12月行事予定

※ HP版では公開していません。



学校間交流の相手校

2年 Carmel Academy